

中 考 動



新年度1学期も中盤になりました。

滋賀県中体連春季大会・吹奏楽祭、中間テストが終わり、1学期も中盤になりました。皆さんの学校での生活リズムや学習リズムも定着してきているようです。季節は春から夏へと移り変わろうとしています。これから梅雨の時期をむかえ、蒸し暑い日が続くと思いますが、体調をくずさないよう、衣服の調節をしっかりとこなって、十分な栄養・睡眠をとることを心がけてください。また、1年の中でこの時期は、全国的に中学生の交通事故の発生件数が最も多い季節ともいわれています。日々、交通ルールやマナーをしっかりと守り、交通事故にあわないよう十分に気をつけましょう。

学ぶ力の向上をめざした老中チャレンジプラン！

本校では、「自主・創造」の校訓のもと、「自ら考え、正しく判断し行動できる知・徳・体の調和のとれた心豊かでたくましい生徒の育成をめざす」ことを学校教育目標としています。また、めざす生徒像として、「考動する生徒になろう・わかりあえる生徒になろう・きたえあう生徒になろう」を合い言葉としています。本年度の重点目標は以下のとおりです。

1. 道徳教育、人権教育を推進し、生徒の思いやりの心を育てる。
2. 生徒が主体的に学ぶ力の育成をめざした取組を展開する。
3. 教員の教科指導力を向上させる。

この重点目標に沿い、学ぶ力向上策として「2018老上中学校チャレンジプラン」を作成しました。このプランの柱となるものが次の5項目です。

- ①「考動タイム」の有効活用。(自主学习ノートの継続)
- ②深い学びを生み出す取組の推進。(授業展開の工夫)
- ③帯活動の推進。(関連性を意識した取組・学習のしおりの活用)
- ④まとめの時間の充実。(ふりかえりへの接続)
- ⑤ともに考え、内からの高まりをめざす道徳教育の推進。(ともに学びあう意識の醸成)



このチャレンジプランについては、本年度内に2回(前期8月・後期2月予定)検証・評価をおこない、改善を図るとともに、有用な計画・編成・実施をめざします。とりわけ検証・評価にあたっては、本年度から導入された学校運営協議会(コミュニティスクール)でおこないます。

